

所蔵古写真の保存整理とデジタル化作業

隈元 榮子

国際日本文化研究センター・画像情報専門官

今回の作業を行った890点のガラス古写真は、平成9年度にキクオ書店（京都市中京区）等から購入したが、乳剤剥離、破損などの劣化もあり、これらを研究資料として直接、使用することは原資料の保全の面から問題があった。文化資料研究企画室の教官の指導により、素材の保存整理を行い古写真そのものの保全をはかると共に、データベースの構築のため、超高精細画像データとしてデジタル化作業を行った。

作業内容は以下のとおりである。

1. 原資料の保存整理の実施内容

1) 銀板写真、湿板写真、乾板写真に大分類して、ID番号を付番。

中性紙の写真専用包材に収納。

古写真の種類	ID番号	枚数
銀板写真	101 ~ 185	85
ガラス湿板写真	301 ~ 408	108
ガラス乾板写真	501 ~ 1195	695

2) 中性紙の専用包材による整理。

個々の古写真はタトウ紙で包み、封筒に収め、封筒外側にID番号を記載。

3) 中性紙の収納箱への収納

封筒に整理された古写真を収納箱に入れ、収納箱の外側に収納した古写真のID番号を記載。

4) 購入時にガラス乾板が入れられていた「外箱」、各種メモ類の保管

ガラス乾板が入れられていた「外箱」ごとに、箱及び各種メモ、間紙などを、整理箱に入れ、整理箱の外側にガラス乾板のID番号を記載。

2. 写真プリントの作成

作業用及び保存用として、写真プリントをキャビネサイズで各2部作成。

写真はモノクロ、原寸にプリント。

古写真の種類	内容	備考
銀板写真	銀塩撮影 6×7cmモノクロネガフィルム	額入りなどのため、表裏を35mmカラーネガ撮影し、 サービスサイズプリント各2枚毎作成 PhotoCD(16base)作成
ガラス湿板写真		
ガラス乾板写真	密着プリント	

3. デジタル化方法

古写真の種類	デジタル化方法	画像原稿
銀板写真	ドラムスキャナー	6×7cmモノクロネガフィルム
ガラス湿板写真		
ガラス乾板写真	フラットベッドスキャナ	ガラス乾板写真

4. 画像データについて

各古写真について、超高精細表示用画像データ及び2種類のネットワーク提供用画像の3種類の画像データを作成した。

古写真の種類	超高精細表示用	ネットワーク提供用	備考
銀板写真	約2100×1800ピクセル 約3.8MB	約1050×900ピクセルのJPEG 約256×180ピクセルのGIF	陽画像（ポジ） ISO9660(level1)で CD-Rに作成
ガラス湿板写真	TIFFファイル（非圧縮）		
ガラス乾板写真	約4950×3600ピクセル 約18MB TIFFファイル（非圧縮）		

5. 古写真の文字情報について

サイズや形状など古写真の物理的な情報を中心に、文字データを作成した。なお、写真内容で読み取れる事柄をできる限り文字データとして採取することを一部試みた。これらの書誌情報については、今後の研究により追加できるよう、情報成長型のデータベース構築が行われた。

なお、今回作業を行った古写真の約三分之一をカタログとして刊行することとなった。

おわりに、東京大学史料編纂所の馬場章助教授と吉田成技術専門職員に、作業の節目ごとにアドバイスをいただき、古写真の扱い方を指導していただきましたこと、感謝します。